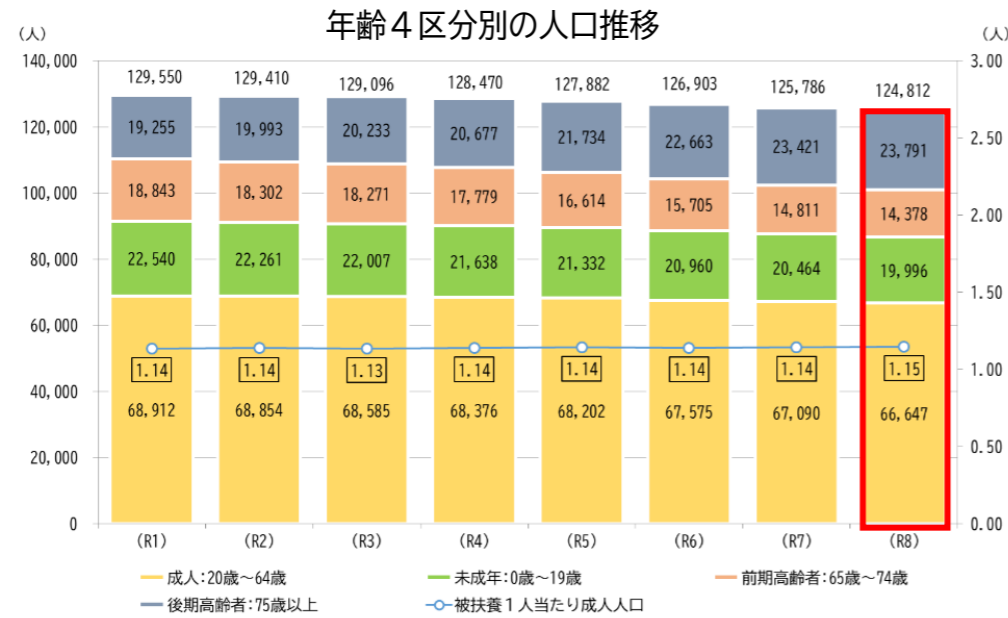


# 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口（令和8年4月1日現在）に基づく本市の人口推移等について

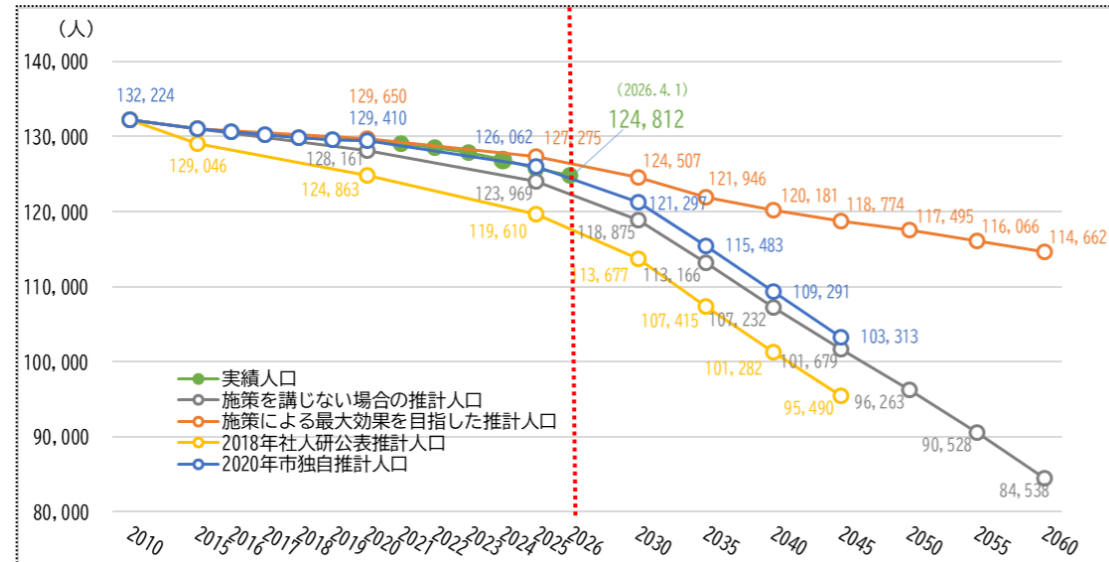
## 1. 人口の推移と将来人口推計に対する動向

- 令和8年4月1日現在の総人口は124,812人で、前年を974人（0.8%）下回り、平成23年に減少に転じてから、16年連続の減少となりました。
- この1年間の出生者数は576人、死亡者数が1,593人で、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は1,017人の減となりました。昭和60年に自然増減の比較を開始して以来、初めて減少に転じた平成18年から21年連続での減少です。
- 令和42（2060）年において約11.5万人の人口規模を確保することを施策による最大効果と捉えた将来人口推計である約126,700人を下回る推移となりました。



総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、瀬戸市「住民基本台帳」

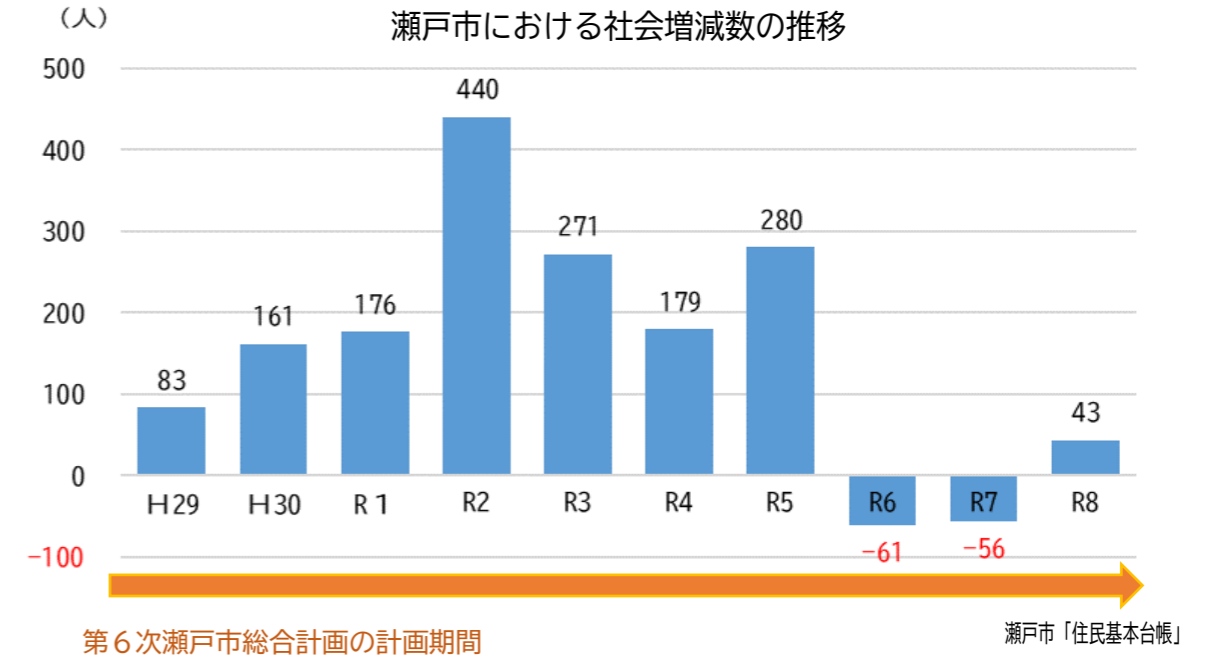
## 瀬戸市人口ビジョンにおける将来人口推計に対する動向



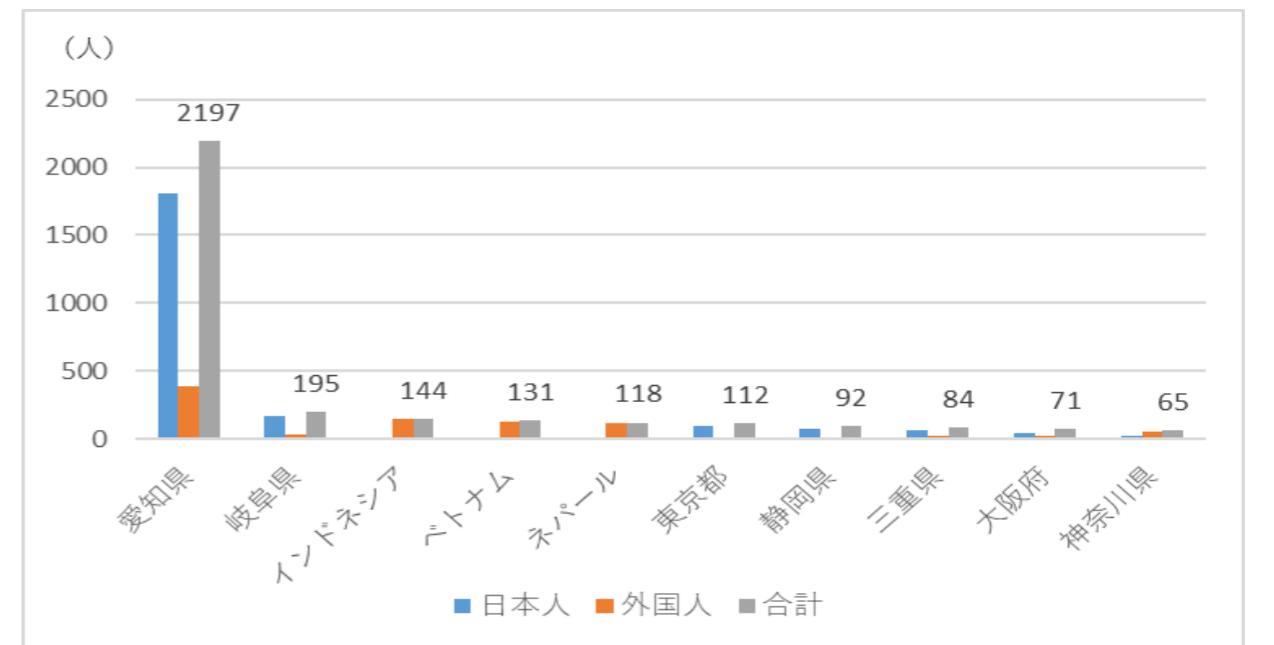
瀬戸市「瀬戸市人口ビジョン」

## 2. 社会増減の状況

- 令和6年から2年連続社会減が続いておりましたが、令和8年は43人の社会増となりました。
- 転入先としては、大半が県内ですが、インドネシア、ベトナム、ネパールなどの外国からの転入も増えています。



## 上位転入先（令和7年4月1日～令和8年3月31日）



瀬戸市「住民基本台帳」

### 3. 外国人の状況

- 日本人については、毎年減少しておりますが、外国人については、毎年増加しています。
- 外国人人口が多い連区については、下品野連区（699人）、效範連区（468人）、山口連区（465人）と続いています。
- 総人口に占める外国人が多い連区については、萩山台連区（10.9%）、原山台連区（10.2%）、下品野連区（9.6%）に続いています。

過去5年間の日本人・外国人の総人口

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
日本人人口	124,132	123,147	121,894	120,399	119,118
外国人人口	4,338	4,735	5,009	5,387	5,694
合計	128,470	127,882	126,903	125,786	124,812

瀬戸市「住民基本台帳」

令和8年4月1日時点 外国人人口が多い連区

順位	連区名	外国人人口
1	下品野	699人
2	效範	468人
3	山口	465人
4	新郷	366人
5	原山台	344人

瀬戸市「住民基本台帳」

過去5年間の総人口における日本人・外国人の占める割合

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
日本人割合	96.62%	96.3%	96.05%	95.72%	95.44%
外国人割合	3.38%	3.7%	3.95%	4.28%	4.56%

瀬戸市「住民基本台帳」

令和8年4月1日時点 外国人割合が多い連区

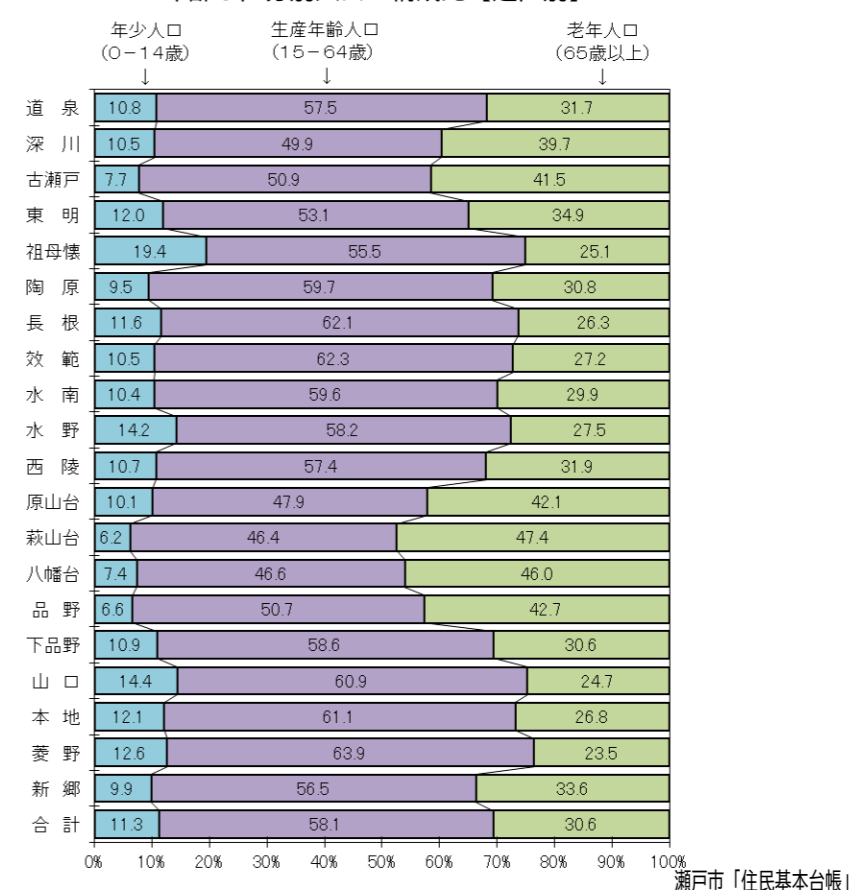
順位	連区名	外国人割合
1	萩山台	10.9%
2	原山台	10.2%
3	下品野	9.6%
4	品野	8.7%
5	八幡台	7.9%

瀬戸市「住民基本台帳」

### 4. 高齢化率の状況と今後の予測

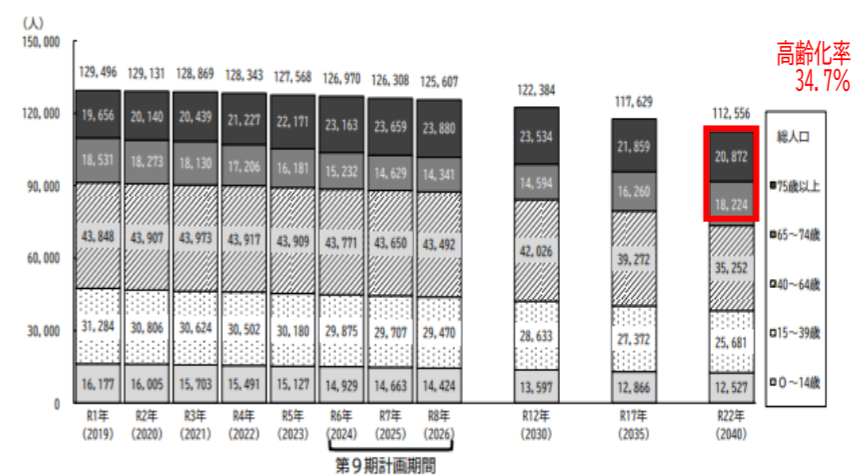
- 令和8年4月1日現在の老年人口は38,169人、高齢化率は30.6%となっています。
- 老年人口の割合が最も高い連区は萩山台連区（47.4%）で、八幡台連区（46.0%）、品野連区（42.7%）と続いています。
- 令和22（2040）年には、日本全体で高齢化率が約35%になると推計されていますが、本市でも34.7%となる見込みです。

年齢3区分別人口の構成比【連区別】



瀬戸市「住民基本台帳」

■年齢5区分推計人口の推移（※各年10月1日時点、令和6（2024）年以降は推計値）



資料：住民基本台帳（令和5（2023）年まで）

瀬戸市「瀬戸市高齢者総合計画（第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）」